

CASBEE[®]-不動産

【集合住宅】

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-不動産 2024年版

v1.0

建物概要					
建物名称	ルクレ高野台レジデンス	敷地面積	547 m ²	評価の段階	運用段階評価
建設地	東京都練馬区	建築面積	338 m ²	評価の実施日	2025年3月3日
用途地域	準住居地域、防火地域	延床面積	1,954 m ²	作成者	福士 明子
建物用途	共同住宅	地上10F		不動産評価員番号	ふ-001189-27
竣工年月	2008年2月20日	階数		確認日	2025年3月18日
直近の大規模改修実施年月	—	構造	RC造	確認者	福士 明子
		平均居住人員	75 人	不動産評価員番号	ふ-001189-27
		年間使用時間	8,760 時間/年		

評価結果									
75.1 /100		合計		ホールライフカーボンの評価				評価しない	
(得点 / 満点)									
S ランク:★★★★★		≧	78						
A ランク:★★★★		≧	66						
B+ランク:★★★		≧	60						
B ランク:★★		≧	50						
ポイントは小数点第1位までの表示とする									
				取組項目数: A1-A5		B1,B3-B5			
				B6-B6		C1-C4			

1. エネルギー／温暖化ガス					
評価	最大加点点	必須項目	指標 (※は参考値)	評価値	
適合	加点点1	根拠等:省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制 実績値より省エネ基準への適合、年間実績を把握、ベンチマーク比較実施、次年度省エネ目標設定	一次エネルギー(目標値)	607	MJ/m ² ・年
15.0	20 / 15	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	613.3	MJ/m ² ・年
		根拠等:実績値より	二次エネルギー(*)	62.8	kWh/m ² ・年
			GHG排出量(*)	27.0	kg-CO _{2eq} /m ² ・年
3.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	共用部の評価		
		根拠等:エネルギー消費量実績値一覧参照	一次エネルギー(実績値)	613.3	MJ/m ² ・年
		二次エネルギー＝一次エネルギー/9.76	二次エネルギー(*)	62.8	kWh/m ² ・年
		GHG排出量を算出する係数は0.429 kg-CO ₂ /kWh (電気)	GHG排出量(*)	27.0	kg-CO _{2eq} /m ² ・年
1.0	- / 5	1.3 省エネルギー(仕様評価)	専有部の省エネ対策		
		根拠等:3)	導入された対策項目数		項目
3.0	5	1.4 自然エネルギー(間接利用)			
		根拠等:導入していない	利用率		%
22.0	30.0	合計			

2. 水					
評価	最大加点点	必須項目	指標	評価値	
適合		根拠等:目標設定、モニタリング、運用管理体制	水使用量(目標値)	8.4	L/m ² ・年
	0	2.1 水使用量(計算値)	評価しない		
2.0	5	2.2 水使用量(仕様評価)			
		根拠等:1)	取組数		項目
5.0	5	2.3 水使用量(実績値)			
		根拠等:水使用量実績値一覧参照	水使用量(実績値)	8.5	L/m ² ・年
7.0	10	合計			

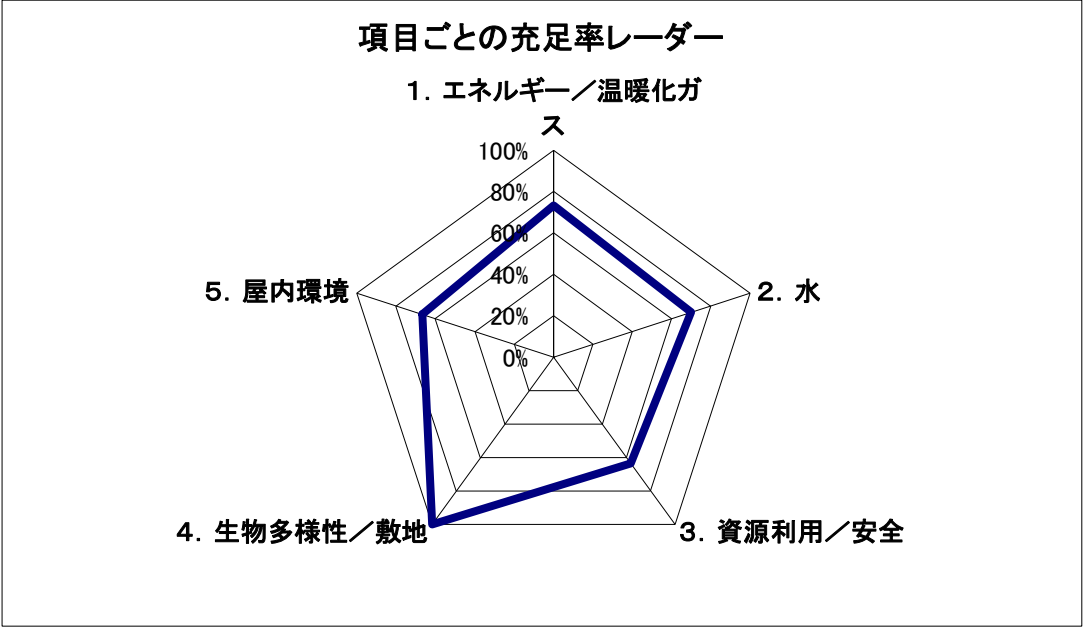
3. 資源利用／安全				
評価	最大加点点	必須項目	指標	評価値
適合		根拠等:新耐震基準への適合またはIs値、If値		
		根拠等:新耐震基準に適合	なし	
3.0	5	3.1 高耐震・免震等	3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価	
3.0		3.1.1 耐震性		
		根拠等:建築基準法に定められた耐震性を有する		
3.0		3.1.2 免震・制震・制振性能		
		根拠等:導入していない		
3.5	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理負荷抑制	3.2.1と3.2.2の平均で評価する	
		3.2.1 再生材利用率	①と②の平均で評価する	
		① 躯体材料	用いていない	
3.0		② 非構造材料	リサイクル資材を用いている	リサイクル材品目数(非構造材)
3.0		3.2.2 廃棄物処理負荷抑制		1 品目
	加点点1	根拠等:1)、2)、3)、6)	取組数	4 ポイント
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		
		根拠等:建築基準法に定める対策が講じられている	経過年数＋今後の想定耐用年数	年
3.2	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔／設備の自給率向上／維持管理／バリアフリー	3.4.1,3.4.2,3.4.3,3.4.4の平均	
4.0		3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔		
		根拠等:計算式参照	更新年数の平均値	17 年
1.0		3.4.2 設備(電力等)の自給率向上		
		根拠等:特になし	自給率向上の取組数	項目
5.0		3.4.3 維持管理		
		根拠等:1)～6)	維持管理に関する取組数	13 ポイント
3.0		3.4.4 バリアフリー対策		
		根拠等:バリアフリー法の建築物移動等円滑化基準項目の半分以上を満たしている		
12.8	20	合計		

4. 生物多様性／敷地				
評価	最大加点点	必須項目	指標	評価値
適合		根拠等 特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない	なし	
10.0	10	4.1 生物多様性の向上		
(4.2対象外の時は点数を倍)		根拠等 1)、3)、5)	②取組表による場合のポイント数	3 ポイント
0.0	0	4.2 土壤環境品質・ブラウンフィールド再生		
(対策不要は対象外)		根拠等 土壤汚染対策法に基づく汚染除去等の区域指定にない	なし	
5.0	5	4.3 公共交通機関の接近性		
5.0		4.3.1 公共交通機関の接近性		
		根拠等 高野台一丁目バス停 徒歩3分	鉄道駅またはバス停からの距離	3 分圏内
		4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮	評価しない	
5.0	5	4.4 自然災害リスク対策		
		根拠等 リスクの合計数は1種のみで、有効な防災対策を実施している	リスクの合計数	1 種類
20.0	20	合計		

5. 屋内環境					
評価		最大加点点	必須項目	指標	評価値
適合			根拠等:建築物衛生管理基準の準拠または質問票への適合		
			質問票への適合	なし	
5.1 自然利用					
2.3	3	5.1.1 星光利用	5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3		
2.0		5.1.1.1 自然採光	根拠等:計算式参照	開口率	34.4 %
3.0		5.1.1.2 星光利用設備	根拠等:星光利用設備がある	星光利用設備	1 種類
1.0	3	5.1.2 通風・排熱	根拠等:居室に自然換気開口がある		
1.0	3	5.1.3 眺望・ゆとり	根拠等:レベル2を満たさない	天井高	m以上
5.2 健康・快適					
2.0	2	5.2.1 暑さ・寒さ	根拠等:外壁断熱、カーテンレール、複層ガラスを設置している		
2.0	2	5.2.2 主要な居室の冷房・暖房	根拠等:居室に冷暖房装置を実装している		
2.0	2	5.2.3 化学汚染物質対策・適切換気	根拠等:化学汚染物質を抑える建材を用いている		
1.0	2	5.2.4 騒音・遮音	根拠等:レベル2を満たさない		
2.0	3	5.3 防犯対策	根拠等:エントランスにセキュリティシステムの設置、かつITVカメラ監視		
13.3	20	合計			

6. ホールライフカーボンの評価【任意】					
評価	最大(加点点なし)	指標	評価値		
	5	取組数	A1-A5		項目
			B6-B6		項目
			B1,B3-B5		項目
			C1-C4		項目
↑ 評価しない場合は空欄					

ルクレ高野台レジデンス



環境性能の特徴

- ・新耐震基準を満たしている。
- ・敷地内の生物多様性向上に取り組んでいる。
- ・徒歩3分圏内に交通公共機関(バス停)があり利便性が高い。
- ・自然災害リスクへの対策が講じられている。
- ・維持管理が適切に行われており、屋内環境も良好である。